

生活交通確保維持改善計画について

1. 概要

この計画は、生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段として、地域公共交通の確保・維持・改善に関する事業を指し、国がその事業に対して支援をするものである。

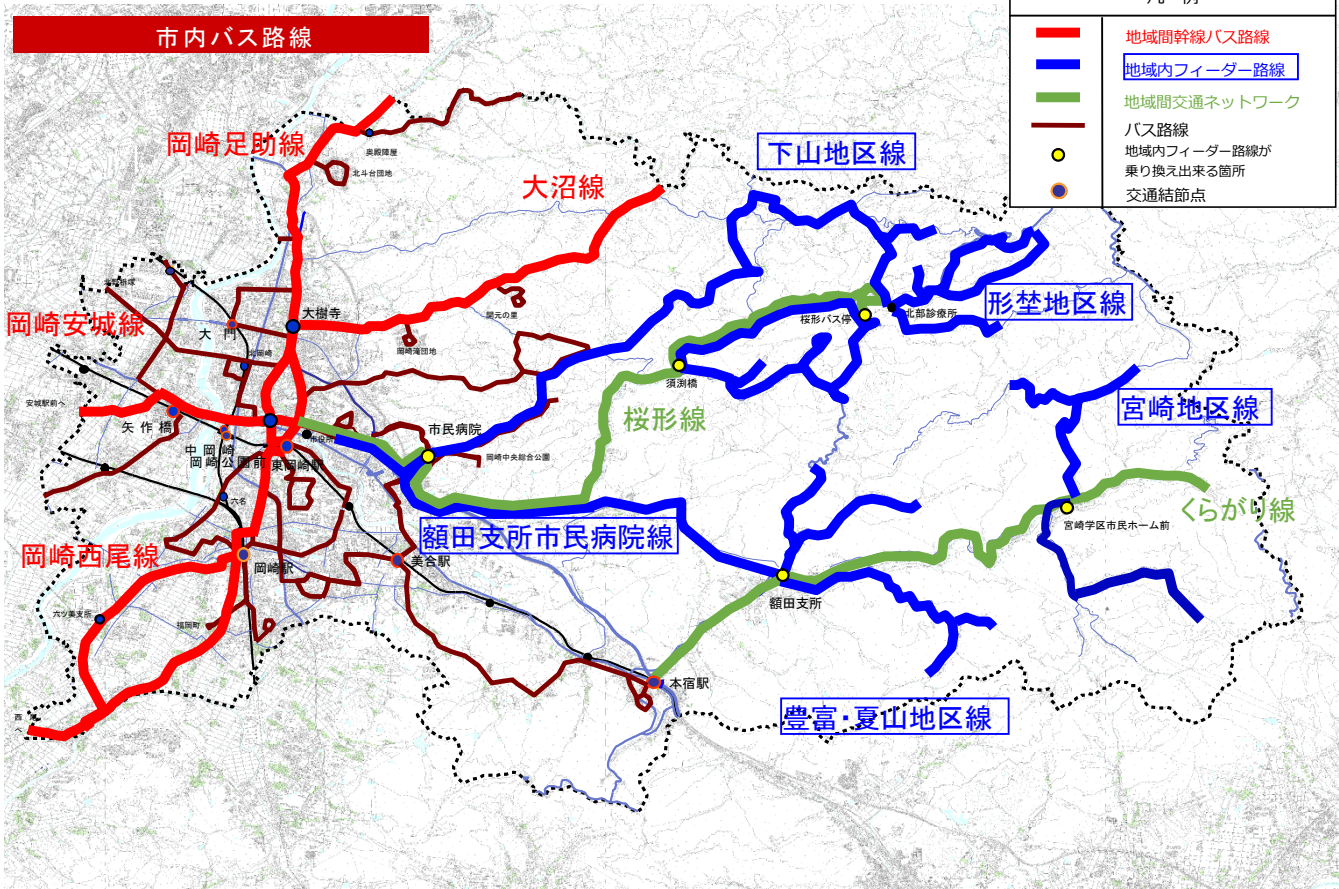
この事業支援には、幹線バス等の地域間交通ネットワークの支援と、当該幹線と接続、または、山村振興法に基づき指定された振興山村（額田地域全域）を沿線に含む地域内のバス交通・デマンド交通の運行についての支援（地域内フィーダー系統補助）があり、本市が策定するのは地域内フィーダー系統にかかる確保維持改善計画である。

2. 対象路線及び補助対象事業

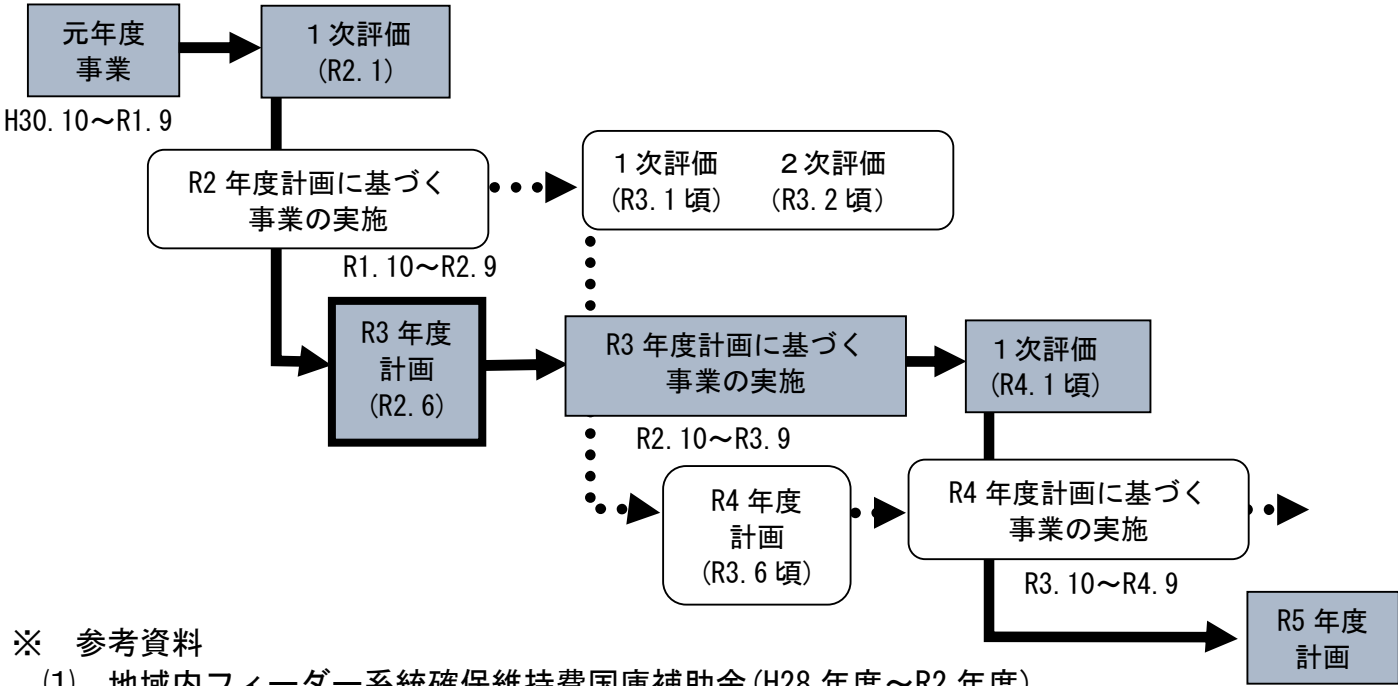
地域公共交通確保 維持事業の区分	補助対象事業	補助対象路線	生活交通確保維持 改善計画の策定主体
地域間幹線系統 確保維持事業	地域をまたがる幹線バス交通 ネットワークの確保維持事業	大沼線、岡崎西尾線、 岡崎足助線、岡崎安城線	県バス対策協議会
地域内フィーダー 系統確保維持事業	山村振興法に基づき指定され た振興山村（額田地域全域）を 沿線に含む地域間交通ネット ワークと接続する地域内交通 の確保維持事業	額田支所市民病院線、下山地 区線、形埜地区線、宮崎地区 線、豊富・夏山地区線	岡崎市 （岡崎市交通政策会議 にて協議）

※「桜形線」及び「くらがり線」は、山村振興法に基づき指定された振興山村を沿線に含む地域間交通ネットワークである。

【対象路線図】



3. 地域内フィーダー系統確保維持事業の流れ



※ 参考資料

- (1) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 (H28 年度～R2 年度)
- ・ 令和元年度まで申請上限額の交付額となっている
 - ・ 国庫補助金の申請上限額が減少傾向にあったが、前年度は増加した。

(千円)				
路線 \ 年度	H28年度 交付額	H29年度 交付額	H30年度 交付額	R1 (H31) 年度 交付額
額田支所市民病院線	2,085	2,209	2,136	3,857
下山地区線	1,334	1,325	1,426	2,836
形埜地区線	617	450	0	0
宮崎地区線	490	173	0	0
豊富・夏山地区線	158	91	69	123
合計	4,684	4,248	3,631	6,816
申請上限額	4,684	4,248	3,631	6,816

(2) 令和元年度事業の1次評価（自己評価）における課題及び対応方針

課題

- ・ 額田地域以外の住民のほか、高齢者や高校生の利用を増やす必要がある。
- ・ 効果的な利用促進策は継続して実行し、新たな取組も行っていく必要がある。
- ・ 地域間交通の維持確保策も重要課題とし並行して対応する必要がある。
- ・ 利用者数が減少傾向にある中山間部において効率的で効果的な路線再編と利用促進の推進が必要。
- ・ 近隣市町との連携による広域的な公共交通ネットワークの構築が必要。

対応方針

- ・ 地域住民とともに高齢化を迎える年代や高校生の通学利用者に対する利用促進を図る。
- ・ 地域住民の主体的な取組に対して、地域住民や事業者等と連携して地域ニーズにあった利便性の高い移動手段の検討をおこない、高齢者等の移動手段の確保を目指す。
- ・ フィーダー路線や地域間交通について、地域のニーズにあった新たな運行形態や路線の役割の整理等、効率的で効果的な路線を地域住民と一緒に検討するとともに、利用促進の推進に取り組んでいく。
- ・ 近隣市との連携を強化し、公共交通ネットワークの相互連携、機能強化等の研究を進める。